

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F127310108394	設置等組織名	理工学部（理工学科）、情報学部（情報学科）
大学名	大和大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	大阪	事業計画名	大和大学 理工学部・情報学部 収容定員増加計画

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和6年度	<理工学部> 1～① 令和6年7月～ 理工学部の収容定員の総数の増加に関する情報発信・広報展開 <情報学部> 1～② 令和6年7月～ 情報学部の収容定員の総数の増加に関する情報発信・広報展開 <理工学部> 2～① 令和6年7月～ 収容定員の総数増に対応する校舎改修・設備整備（C棟・D棟） 2～② 令和6年7月～ 収容定員の総数増に対応する校舎増築改修（F棟） 2～③ 令和6年7月～ 理工学部・情報学部の情報設備強化整備 2～④ 令和6年7月～ 全学情報設備強化整備 <情報学部> 2～⑤ 令和6年7月～ 収容定員の総数増に対応する校舎増築改修（F棟） 2～⑥ 令和6年7月～ 理工学部・情報学部の情報設備強化整備 2～⑦ 令和6年7月～ 全学情報設備強化整備	<理工学部> 1～① 令和6年9月～ 理工学部の収容定員の総数の増加に関する情報発信・広報展開 <情報学部> 1～② 令和6年9月～ 情報学部の収容定員の総数の増加に関する情報発信・広報展開 【変更】 助成金交付決定時期に対応するため <理工学部> 2～① 令和6年8月～ 収容定員の総数増に対応する校舎改修・設備整備（C棟・D棟） 2～② 令和6年8月～ 収容定員の総数増に対応する校舎増築改修（F棟） 2～③ 令和6年11月～ 理工学部・情報学部の情報設備強化整備 2～④ 令和6年11月～ 全学情報設備強化整備 <情報学部> 2～⑤ 令和6年8月～ 収容定員の総数増に対応する校舎増築改修（F棟） 2～⑥ 令和6年11月～ 理工学部・情報学部の情報設備強化整備 2～⑦ 令和6年11月～ 全学情報設備強化整備	令和6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
令和7年度	<理工学部> 3～① 令和7年4月～ 情報発信・広報のための印刷製本 3～② 令和7年4月～ 情報発信・広報のための広報展開 <情報学部> 3～③ 令和7年4月～ 情報発信・広報のための印刷製本 3～④ 令和7年4月～ 情報発信・広報のための広報展開	<理工学部> 3～① 令和7年4月～ 情報発信・広報のための印刷製本 3～② 令和7年5月～ 情報発信・広報のための広報展開 【変更】 適切な時期に広報展開を回るため <情報学部> 3～③ 令和7年4月～ 情報発信・広報のための印刷製本 3～④ 令和7年5月～ 情報発信・広報のための広報展開 【変更】 適切な時期に広報展開を回るため	令和7年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
令和8年度	<理工学部> 3～① 令和8年4月～ 情報発信・広報のための印刷製本 3～② 令和8年4月～ 情報発信・広報のための広報展開 <情報学部> 3～③ 令和8年4月～ 情報発信・広報のための印刷製本 3～④ 令和8年4月～ 情報発信・広報のための広報展開		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度	<理工学部> 3～① 令和9年4月～ 情報発信・広報のための印刷製本 3～② 令和9年4月～ 情報発信・広報のための広報展開 <情報学部> 3～③ 令和9年4月～ 情報発信・広報のための印刷製本 3～④ 令和9年4月～ 情報発信・広報のための広報展開		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度	<理工学部> 3～① 令和10年4月～ 情報発信・広報のための印刷製本 3～② 令和10年4月～ 情報発信・広報のための広報展開 <情報学部> 3～③ 令和10年4月～ 情報発信・広報のための印刷製本 3～④ 令和10年4月～ 情報発信・広報のための広報展開		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和6年6月 理工学部 収容定員の総数の増加 認可申請 令和6年6月 情報学部 収容定員の総数の増加 認可申請□	令和6年6月 理工学部 収容定員の総数の増加 認可申請 令和6年6月 情報学部 収容定員の総数の増加 認可申請□		
定員減又は 学部等の廃止				

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	大和大学
-------------	-------	-----	------

2.申請資格の確認

- i) 学生募集停止中の大学
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、ブルダウで選択してください。（ブルダウの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	i)	ii)	iii)	iv)	v)
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

- 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□
- 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
- 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。
- 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
- 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
- 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、 令和7年度 の取組の状況についてブルダウで選択してください。（ブルダウの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

※については、現在の状況をブルダウより選択してください。

申請要件※について	現在の状況
※文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.理工学部・情報学部とも、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の授業において、企業との連携による実学講座を展開している。 b.理工学部・情報学部とも、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の授業において、近隣大学・大学院との連携による大学院進学ガイダンスを実施しており、理工学部は、「卒業研究」「理工学実践演習Ⅰ・Ⅱ」の授業において、情報学部は、「卒業研究」の授業において、大学院研究科との共同研究活動を実施している。	a.理工学部・情報学部とも、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の授業において、企業との連携による実学講座を展開している。 b.理工学部・情報学部とも、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の授業において、近隣大学・大学院との連携による大学院進学ガイダンスを実施しており、理工学部は、「卒業研究」「理工学実践演習Ⅰ・Ⅱ」の授業において、情報学部は、「卒業研究」の授業において、大学院研究科との共同研究活動を実施している。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a.入学者選抜における科目の見直し
- チェック b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.理工学部・情報学部とも、毎年度、志願者動向、出身高校、偏差値を分析し、選択科目の選択肢の再検討とともに、一部科目に比重を置いた入試を実施している。 b.理工学部において、女子学生を対象とする特別入試を令和7年度入試より実施予定。 c.理工学部・情報学部とも、近隣地域の高等学校と連携し、理工分野、情報分野の学問領域に関する出前授業（高等学校において実施する特別授業）を実施している。 e.理工学部・情報学部とも、国内の日本語学校に在籍している外国人留学生を対象とする留学生入試を実施している。	a.理工学部・情報学部とも、毎年度、志願者動向、出身高校、偏差値を分析し、選択科目の選択肢の再検討とともに、一部科目に比重を置いた入試を実施している。 b.理工学部において、女子学生を対象とする特別入試に替えて、女子学生が魅力に感じるキャンパス環境の整備、食堂メニュー展開等の展開を図っている。 c.理工学部・情報学部とも、近隣地域の高等学校と連携し、理工分野、情報分野の学問領域に関する出前授業（高等学校において実施する特別授業）を実施している。 e.理工学部・情報学部とも、国内の日本語学校に在籍している外国人留学生を対象とする留学生入試を実施している。	b 女子学生を対象とする特別入試の実施効果が薄く、代替展開として、女子学生が魅力に感じるキャンパス環境の整備や、食堂メニュー展開等を図ることとした。

大学名	大和大学
-----	------

1.本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

[illegible]

大学名	大和大学
-----	------

本事業対象となる学部等の個数	2
----------------	---

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>
(1)

改組内容	既存学部の収容定員の増加
学部学科名	理工学部理工学科（理学関係・工学関係）

[illegible]

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

大学名	大和大学
-----	------

(2)	改組内容	既存学部・収容定員の増加
	学部・学科名	情報学部情報学科（経済学関係・工学関係）

[illegible]

大学名	大和大学
-----	------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	大和大学
-----	------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1300	1415	1510																
		入学者数	人	1395	1339	1412																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	0	0	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,300	1,415	1,510																
		入学者数(B)	人	1,395	1,339	1,412																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.07	0.95	0.94																
	収容定員等	収容定員(C)	人	4460	4925	5457																
		編入学定員	人	15	25	25																
		在籍者数(D)	人	4800	5115	5467																
		編入 学者数	人	8	9	26																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.08	1.04	1.00																

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			申請－5年	申請－4年	申請－3年	申請－2年	申請－1年	申請	選定	増員											
項目		単位																			
外部資金獲得額		千円	3,142	8,834	7,421	21,507	22,304	28,336	24,427	32,014											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間に おける各年度の外部資金)	千円	12,587
本事業による助成金の額(F)	千円	690,527
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	29,850

特記事項

該当なし
